

生物多様性ってなに??

地球には、川や森、草原、海などさまざまな環境があります。いきものは、その中でお互いに支え合い、競争しながらバランスを保って生きています。
このように、さまざまな環境に、たくさんの種類のいきものが関わりあって暮らしていることを生物多様性といいます。

3つの生物多様性

1 種の多様性 (さまざまな種類のいきものがいる)



ウグイ シマドジョウ クロベンケイガニ キンヤンマのヤゴ カルガモ

▲川を例にみても、魚やカニ、ヤゴ、水鳥などさまざまな種類のいきものが暮らしています。

2 遺伝子の多様性 (同じ種類のいきものでもさまざまな個性がある)



エノコログサ

◀ねこじゃらしでおなじみのエノコログサは、穂の色にそれぞれ違いが見られます。

3 生態系の多様性 (いきものが暮らせるさまざまな環境がある)



◀森、川、海などのさまざまな環境にさまざまないきものが暮らしています。

いきものにせまる危機



人の活動による危機

開発による森林面積の減少やいきすぎた捕獲によって、いきものが減ってしまいます。

私たちにできること 私たちが毎日使う水は、川や海へ戻ります。川や海にすむいろいろないきものの生活環境を守るために、生活排水の汚れが少なくなるように取り組みましょう。



外国のいきものによる危機

人の手によって外国から持ち込まれたいきもの（外来生物）が日本のいきものをおそったり、エサを奪ったりして問題になっています。

私たちにできること 外国の魚やカメなどのペットを川に放したり、外国の植物の種を自然が豊かな場所に蒔くのはやめましょう。



自然との関わりが薄れたことによる危機

お米をつくらなくなった水田や手入れをしなくなった里地里山は、荒れてしまい、いきものが減ってしまいます。

※手入れされた里地里山には多様な環境がつけられており、さまざまないきものがすんでいます。

私たちにできること 自然の中で遊び、身近ないきものを観察してみましょう。また、野外ではごみ捨てのマナーを守りましょう。



地球温暖化による危機

地球温暖化による環境の変化は、地球全体のいきものの生活に影響をおよぼしてしまいます。

私たちにできること 地球温暖化の主な原因物質である CO₂ の排出量を抑えるため、省エネ活動に取り組みましょう。

特定外来生物ってなに?

人の手によって国内に持ち込まれた外国原産のいきもので、自然やいきもの、人の命・身体、農林水産業へ被害をおよぼす危険が大きいものとして、外来生物法（2004）によって規定された生物のことをいいます。



市内の河川で確認された特定外来生物

左:ナガエツリノゲイトウ(南アメリカ原産)

水辺に生育するが、乾燥にも強く、繁殖力が旺盛。

右:アレチウリ(北アメリカ原産)

成長が非常に速く、群生することが多い。

みんなで身近な取り組みにチャレンジして、川やそこにすむいきものを守っていきましょう!